

ホームページへの掲載		
済	7月10日	掲載予定

岐 阜 県 立 可 児 工 業 高 等 学 校

学 校 長 豊 吉 守

学校住所 可児市中恵土2358の1 電話 0574-63-1185

- 1 会議の名称** 可児工業高等学校学校評議員会 (第1回)
- 2 会議の構成**
- | | | |
|-------|--------|-----------------|
| 委 員 | 安達 邦満 | 可児市中恵土自治会連合会長 |
| | 小栗 公子 | (有)小栗モータース取締役 |
| | 相生 順子 | 可児市青少年育成アドバイザー |
| | 玉田 吉孝 | リンナイ精機株式会社専務取締役 |
| | 長谷川 保 | 可児市下恵土公民館館長 |
| | | (委員名は五十音順) |
| 学 校 側 | 豊吉 守 | 校長 |
| | 高木 良昭 | 教頭 |
| | 福井 学 | 事務長 |
| | 広瀬 和生 | 教諭 (教務主任) |
| | 鈴木 宏 | 教諭 (進路指導部長) |
| | 山田 三栄子 | 教諭 (生徒指導部長代理) |
| | 大山 好武 | 教諭 (工業部長) |
- 3 会議の目的** 学校が保護者や地域住民の信頼と期待に応えるためには、地域に開かれた学校づくりの推進が重要である。学校は家庭や地域にその運営方針を明らかにし、その理解と協力を得るとともに、学校外の有識者等の参加を得て、学校運営に対する幅広い意見を集約し、本校教育の一層の改善・充実を目指す。
- 4 会議の開催** 平成21年6月24日(水) 13:30~15:10 可児工業高等学校校長室
委員5人と学校側7人が出席
会の内容
・委嘱書交付
・授業参観と施設見学
・出席者自己紹介
・県立学校の学校評議員について
・学校の現況と課題
・授業参観の感想と本校への意見や提言
・その他

5 会議の概要

(1) 本校の現況と課題

学校より以下のように説明を行った。

- ①平成21年度の可児工業高等学校の学校運営について (学校長)

- ②教務部の方針と重点
- ③生徒指導部の方針と重点
- ④進路指導部の方針と重点及び平成20年度の進路概要
- ⑤工業部の方針と重点

(2) 授業参観及び施設見学のご感想や意見

意見 1 工業高校の授業は初めて参観した。夢があると感じた。選択授業が多く、少人数制でわかりやすい授業だと感じた。

専門分野の技術が高く、いろいろな競技会に出るなど、生徒たちが一生懸命だと感じた。また生徒たちが伸び伸びして気持ち良かった。

意見 2 教室での授業は少人数教育がされていて、自分たちの時代と比べて恵まれていると感じた。

回答 全ての教科で少人数授業は行っていないが、今日、ご覧いただいた英語などは少人数の効果があると思われる。生徒がより興味を持って授業が受けられるように教科の選択を取り入れているので、少人数での授業も多い。また、実習では安全のためもあり、おおむね生徒10人に教員1人の体制をとっている。

意見 3 少人数でものづくりをしている。子供達が真剣に取り組んでいた。生徒・職員の相互に真剣さを感じた。信頼関係があるように思えた。ただ、生徒と先生の関係が近すぎて「感謝」の気持ちが薄いように思えた。

回答 70%が就職する本校にとって、社会人としての常識を身につけさせることは重要だと考えている。実習前の集会などで指導をしたり、職員室への入室マナーなど日頃から指導に心がけている。しかし、まだ十分でないので、これからも指導を強めていきたい。

意見 4 実習室の中には、一部で整理整頓の看板があるのにできていないところがあった。あれでは看板の意味がない。また、廊下に紙くずを丸めた物が落ちていた。廊下の床に、靴がこすれたような跡が残っていた。

回答 整理整頓については日頃から心がけているが、今のご指摘のようにまだ十分ではない。今後は看板に偽りがないよう心がけていきたい。また掃除については、十分できるような時間配分も改善したい。

(3) 本校への意見や提言

意見 5 近くには大きなショッピングセンターやコンビニがある。以前は店の前に座り込んだりする姿を見たが最近あまり見かけなくなった。

回答 無用なトラブルを防ぐため、必要がないときはあまり立ち寄らないような指導をしているが、とくにコンビニなどは完全に禁止するわけにはいかない。これからも気になることがあったら知らせてほしい。

意見 6 昨年度3月卒業式後、ラスパの方へ向かう道路で可児工生が自転車を二人乗りして、3列で道をふさいで走行しているのを見かけた。下校時など、学校外で制服を着ている場合は、”可児工”という看板を背負っている、という気持ちを忘れないようにしてほしい。

回答 そのことについては生徒に日頃から強調している。一人一人が正しい行動をすることで、学校の評価を高めることができるということを今後も指導していきたいし、街での生徒の様子を教えていただくのは大変ありがたい。

意見 7 危機管理についてだが、薬物・シンナーなどについてはどのように対応しているのか。起こさないようにどのような対策を講じているか。

回答 年間で計画的に外部講師を招いて講演を実施している。またそのような問題は友人関係もチェックする必要があり、生徒の様子をよく観察し、各生徒の情報を共通で理解し、未然に防止するよう心がけている。

意見 8 不審者などの情報はどのように把握しているか。昨年度、広見地区に多発した。巡回で1人は逮捕されたということだ。今年度も7月5日の啓発運動に、MSリーダーズの参加をお願いしたい。

回答 地区生徒指導の連絡網で情報はすぐに届いている。MSリーダーズについては今年も予定している。

(4) その他

意見 9 私自身の会社でも新入社員に、草取りなどの掃除をさせると、届かない奥の方はやらない。企業では、その届かないところををやる必要がある。そういったことを高校生のうちからやらせてほしい。

意見 10 明るく挨拶ができる。このことは大事なことで続けて行ってほしい。

6 会議のまとめ

① 今年度の評議員は5名中3人が交代した。中には工業高校を見るのは初めての方もいて、施設見学と授業参観では、本校の機械設備や授業内容に興味を示され、又、生徒の実習態度に感動された様子がうかがえた。

② 企業関係の方は本校の取り組みについて理解はされているものの、企業人としての厳しい目で施設や実習室の整備状況をご覧いただき、厳しくも適切なアドバイスを受けることができた。工業高校ではこのような企業の立場からの意見は大変に貴重で、今後の学校運営には大いに参考になった。

③ 生徒の明るさや実習に向かう真剣さは好感をもって受け止めていただけた。本校生のもつ「良さ」を今後も活かして、より良い学校づくりに努めたい。